

医師が自分の子どもに送ったワクチンについてのメッセージが「分かりやすい!」と話題

8/24(火) 15:47 配信 1050  

女子SPA!



イラストは文章をもとに女子SPA!が作成（絵：とあるアラ子）

新型コロナに詳しい医師が、自身の子もたちに向けてつづつた新型コロナ・デルタ株とワクチンについてのメッセージが、SNSで話題になっています。

【画像】守屋章成医師がFacebookに投稿したもののキャプチャ

名古屋検疫所 中部空港検疫所支所所属の守屋章成医師が、離れて住む10代の子もたちに、デルタ株が感染拡大する現状やワクチンについて8月はじめに送った文章を自身のフェイスブックに公開したところ多くシェアされました。

さらにメッセージ内容をキャプチャしてツイッターに投稿する人もあられ、1万7千いいね！が付き、大きな反響となっています。

デルタ株が今までとどう違うのかなど、とても分かりやすく解説されたこちらのメッセージを、守屋医師の許可をもらい掲載します。（以下、守屋医師の寄稿です。）

ワクチン接種券が未だ届かぬ子どもたちに送った

私には離れて暮らす10代の子もが2人います。

彼らのもとには残念ながらまだワクチンの接種券すら届いていません。

コロナ禍ですっかり会えなくなったので、第5波とワクチンについてメッセージアプリで下記のようなメッセージを送りました。8月はじめのことです。

やや厳密さを欠いたり単純化した言い方もしていますが、メッセージアプリで子ども向けにわかりやすく書いたものとしてご容赦ください。

子ども達は2人とも「ワクチン打つよ!」と力強く返信してくれました。

1日も早く彼らにも接種順序が回ってきますよう。

デルタ株は「もはやコロナではない」ぐらい感染力が強い

- 今回の第5波は過去最悪だった第4波の3倍以上の感染者数になるよ。しかも、高齢者は大半がワクチン済みなので、感染者の殆（ほとん）どは赤ちゃんから50代まで。一番多くなるのは20代。
- 病院は日本中であと数日したら満杯になる。すると10代や20代でも病院に入院できずに亡くなる人が出るかもしれない。
- アジアの某国から命からがら緊急帰国した人たちを検疫でお預かりしてるんだけど、その人たちから「20代の日本人が現地でデルタ株に感染して、医療崩壊した現地でどこの病院にも診てもらえないまま亡くなった」って、涙も凍る話を聞いたばかり。
- デルタは「もはやコロナではない」と言いたいぐらいに別の病原体になっちゃった。
- 潜伏期間はアルファが平均5日ぐらいだったのがデルタは平均3日ぐらい。でも最長14日。検疫やってても帰国後10日目に陽性になる人珍しくないからね。
- 最初のコロナウイルスは1人の感染者から平均2.5人に感染させてた。でもデルタは1人から5-9人に感染する。全然次元が違う。